

主要施策名:(3)住環境の整備・充実

事務事業本数:11

基本目標(章)	主要施策(節)	施策区分	事務事業コード	事務事業	所管課
④便利で快適な都市づくり	(3)住環境の整備・充実	(1)移住・定住の推進	431-1	定住促進事業	地域振興課
		(4)公園・緑地の整備	434-1	農業公園管理事業	農地整備課
		(2)新玉名駅周辺の整備	432-1	玉名平野北西部土地利用等検討事業(新玉名駅周辺等整備)	都市整備課
		(4)公園・緑地の整備	434-2	公園整備事業	都市整備課
			434-3	公園管理事業	都市整備課
		(5)「花の都 玉名」づくりの推進	435-1	花の都づくり推進事業	都市整備課
		(4)公園・緑地の整備	434-4	公園管理事業(都市公園以外)	都市整備課
		(3)公営住宅の整備	433-1	市営住宅運営業務	営繕課
			433-2	市営住宅施設管理業務	営繕課
			430-1	ユニバーサルデザイン建築物整備事業	営繕課
(3)公営住宅の整備	433-4	公営住宅ストック総合改善事業	営繕課		

事務ふりかえりシート

《基本情報》

事務事業の名称 【1】	定住促進事業		所管課 【2】	地域振興課
			作成者(担当者)	小柳 ミチル
総合計画での位置付け 【3】	基本目標(章)	④便利で快適な都市づくり		
	主要施策(節)	(3)住環境の整備・充実		
	施策区分	(1)移住・定住の推進		
実施の根拠 (複数回答可) 【5】	<input checked="" type="checkbox"/> 市長公約 <input type="checkbox"/> 新市建設計画【 年度予定 : 金額 0 千円】 <input checked="" type="checkbox"/> 法令、県・市条例等【 空き家バンク制度実施要綱、おためし暮らし事業実施要綱、定住促進補助事業実施要綱 】 <input checked="" type="checkbox"/> その他の計画【 定住化基本構想 】 <input type="checkbox"/> 該当なし			
事業区分 【6】	<input checked="" type="checkbox"/> ソフト事業 <input type="checkbox"/> 義務的的事业 <input type="checkbox"/> 建設・整備事業 <input type="checkbox"/> 施設の維持管理事業 <input type="checkbox"/> 内部管理事務 <input type="checkbox"/> 計画等の策定事務			
会計区分 【7】	<input checked="" type="checkbox"/> 一般会計 <input type="checkbox"/> 特別・企業会計【 款 2 項 1 目 8 細目 7			

《事務事業の目的》

事務事業の実施背景(どのような問題又はニーズがあるのか) 【8】	「人と自然がひびきあう県北の都 玉名」の将来像のもと、まちづくりに取り組んでいるが、少子化や社会減などにより、人口の減少が続いているため、地域の活力の源である“定住人口の増加”を図る必要がある。
対象 (誰、何に対して、受益者等) 【9】	市民及び市外在住の移住希望者
意図 (どのような状態にしたいか) 【10】	「住んでよかった」「住み続けたい」といわれるような魅力的で住みやすい環境づくりに取組み、市外から玉名市に移住する人を増やすなどし、地域の活性化を図る。

《事務事業の概要》

事業期間 【11】	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返し <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 【 年度 】 【 H18 年度から 】 【 年度～ 年度まで 】		
事業主体 【12】	<input type="checkbox"/> 国 <input type="checkbox"/> 県 <input checked="" type="checkbox"/> 市 <input type="checkbox"/> 民間 <input type="checkbox"/> その他【 】		
実施方法 【13】	<input type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 全部委託・請負 <input type="checkbox"/> 一部委託・請負 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金等交付 <input type="checkbox"/> その他【 】		
事務事業の具体的内容 【14】	<ul style="list-style-type: none"> ・定住促進補助事業(住宅取得補助金、住宅リフォーム補助金、新幹線通勤定期券購入補助金)に関する事務 ・東京、大阪及び福岡で開催される定住フェア等に相談ブースを出典し、移住希望者と直接対話を通じて玉名暮らしをPR ・空き家バンクの運営に関する事務 ・定住に結び付けるため、利用施設に一定期間滞在させることで地域での生活体験を行うことができる「おためし暮らし」の運営に関する事務 ・田舎暮らし志向の市外在住者に情報提供を行う定住希望者登録に関する事務 	⇒	【15】 事務事業を構成する細事業(10)本 ① 第2次定住促進補助事業 ② 定住促進補助事業 ③ 空き家バンク事業

《事務事業実施に係るコスト》

		H28年度決算	H29年度決算	H30年度決算	H31年度予算	全体計画
投入コスト	事業費 (千円)	国庫支出金	0	0	0	0
		県支出金	536	2,332	728	1,500
		起債	0	0	0	0
		受益者負担	0	0	0	0
		その他	0	86	217	190
		一般財源	47,872	51,739	48,544	55,464
	【16】 小計	48,408	54,157	49,489	57,154	
	[再掲]臨時・非常勤職員人件費(千円)	0	0	0	0	
職人 員 件 の 費	職員人工数	1.17	2.12	1.05	1.05	
	職員の年間平均給与額(千円)	5,925	5,896	5,896	5,896	
	【17】 小計	6,932	12,500	6,191	6,191	
合計		55,340	66,657	55,680	63,345	

《事務事業の手段と活動指標》 [18]

事務事業を構成する細事業	手段(細事業の具体的内容)	活動指標	単位	H28実績	H29実績	H30実績	H31計画
① 第2次定住促進補助事業	定住促進補助制度を活用した定住の促進	活用件数	件	23	47	41	49
② 定住促進補助事業	ふるさと回帰フェア等への参加による定住の促進	相談件数	件	28	32	6	15
③ 空き家バンク事業	空き家バンク事業を活用した定住の促進	新規登録件数	件	2	5	4	5

《コスト評価による年度比較》 [19]

コスト評価	H28年度決算	H29年度決算	H30年度決算	H31年度予算
	対象(定住者数(定住促進補助金の活用による転入者数))	108	136	142
投入コスト合計(千円)	55,340	66,657	55,680	63,345
対象1単位あたりのコスト(千円)	512	490	392	422
コスト評価(対前年比)	***	104.55%	(↑) 125.00%	(↑) 92.85%

《事務事業の成果》 [20]

成果指標(意図の数値化)	計算方法又は説明	単位	H28目標	H29目標	H30目標	H31目標
			H28実績	H29実績	H30実績	H31実績
1 人口の社会増減数	転入者数－転出者数	人	—	-176	-176	-176
			44	49	-119	
2 定住者数	定住促進補助金の活用による転入者数	人	125	189	150	150
			108	136	142	

* 成果未達成時の理由 定住促進補助金を活用した世帯数が減少したため。

《事務事業の評価》

		評価の視点	評価結果
妥当性 [21]	<input type="checkbox"/> ・市が実施するよう法令等で義務づけられている <input type="checkbox"/> ・法令等で義務づけられていないが、実施しなければ大半の市民の日常生活に支障をきたす <input type="checkbox"/> ・市が事業へ関与する必要が薄れている <input type="checkbox"/> ・対象者は限定的であるが社会的弱者等を対象としている <input type="checkbox"/> ・利用者、対象者の減少など、市民ニーズの低下傾向がみられる <input checked="" type="checkbox"/> ・現在の市を取り巻く環境からも目的・意図する成果は妥当である <input type="checkbox"/> ・事業開始当初の目的から変化してきている <input type="checkbox"/> ・厳しい財政状況の中、実施する緊急性が認められない		妥当性評価 a 高い b やや高い c やや低い d 低い b
	<input checked="" type="checkbox"/> ・コスト評価の対前年度比は、前年度と比較して改善している <input type="checkbox"/> ・直近2年で、コスト削減の努力・または検討はしているが、下がる余地は小さい <input type="checkbox"/> ・民間など、他の実施主体を活用し、成果を維持したまま事業費等の削減が可能である <input type="checkbox"/> ・電子化等の事務改善、契約や人員の見直し、市の負担(補助)割合を下げること等により、コスト削減の余地がある <input type="checkbox"/> ・サービスを維持するためこれ以外、他に手段が見当たらない <input type="checkbox"/> ・現在の手段は過剰なサービスのため、改善の余地がある		効率性評価 a 高い b やや高い c やや低い d 低い b
有効性 [23]	<input checked="" type="checkbox"/> ・成果指標を設定している <input type="checkbox"/> ・成果指標の目標値を達成した <input type="checkbox"/> ・現在の事業を継続しても成果の向上は期待できない <input type="checkbox"/> ・手段を工夫することで、さらに成果を向上させることができる <input type="checkbox"/> ・法定事務であり成果は求めにくい <input checked="" type="checkbox"/> ・事業について積極的にHPや広報等で情報提供している <input type="checkbox"/> ・事業には地域住民、NPO、ボランティア団体等が参画している <input type="checkbox"/> ・国/県/民間が行っている事業と重複、または、他の部等に類似・重複した事務事業があるため、事業内容を見直す余地がある		有効性評価 a 高い b やや高い c やや低い d 低い b
	<input type="checkbox"/> ・受益者負担がある ⇒ <input type="checkbox"/> ・金額が妥当 <input type="checkbox"/> ・金額が高すぎる、または安すぎる ・負担率【 0.00 %】 <input checked="" type="checkbox"/> ・受益者負担が無い ⇒ <input type="checkbox"/> ・設定できる <input checked="" type="checkbox"/> ・設定できない理由(なじまないため) [24]		

《前回からのふりかえり結果と今後の方向性》

前回のふりかえりに対して見直し・改善状況 [25]	第2次住宅取得補助事業の周知を行い、補助金の活用による移住者数は増加した。空き家バンクの登録物件数は増加したものの、宅地建物取引業協会(宅建協会)との空き家の利活用に関する協定は維持していないため、引き続き協定の締結に向け検討を行う。より多くの方に利用してもらえよう、おためし暮らしの利用期間を最長6ヵ月から3ヵ月に短縮し、平成31年4月から実施することとした。物件についても増やすことを試みたが、今のところ適当な物件が見つかっていないため、早急に見つけたい。		
今後の方向性 [26]	<input checked="" type="checkbox"/> 拡充して継続 <input type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 縮小して継続 <input type="checkbox"/> 執行方法の改善 <input type="checkbox"/> 休止・廃止	総合判定	A
今後の方向性に対する見直し・改善の具体的内容	都市部における玉名市の認知度を高めるため、定住相談会や市のHPを活用し、積極的な情報発信を行っていく。おためし暮らしは問い合わせが多く、予約が埋まりやすいので、より多くの人に利用してもらうため、おためし暮らし住宅物件の増加を検討する。また、現在の建物は水道パイプの故障や飲料不適切などの問題があるため、新たなおためし暮らしの住宅物件がないか検討する必要があるのではないかと考える。		
次年度への予算反映(連動)	<input checked="" type="checkbox"/> ・増額 (細事業名) おためし暮らし事業 <input type="checkbox"/> ・減額 (細事業名)		

■評価責任者記入欄

評価責任者(課長)の所見 [27]	人口減小対策は本市の重要課題であり、これまでの事業を継続的に実施するとともに、移住者の受け入れ体制の整備を検討して行く。また、既に玉名市に住んでいるが暮らしやすいと思える環境や定住したいと思える意識を育むことが重要であるため、関係各課と連携しながら	評価責任者 井上 康博
-------------------	--	----------------

事務ふりかえりシート

《基本情報》

事務事業の名称 【1】	農業公園管理事業		所管課 【2】	農地整備課	
			作成者(担当者)	徳永優貴	
総合計画での位置付け 【3】	基本目標(章)	④便利で快適な都市づくり			重点 施策 【4】 <input type="checkbox"/> 該当
	主要施策(節)	(3)住環境の整備・充実			
	施策区分	(4)公園・緑地の整備			
実施の根拠 (複数回答可) 【5】	<input type="checkbox"/> 市長公約 <input type="checkbox"/> 新市建設計画【 年度予定 : 金額 0 千円】 <input checked="" type="checkbox"/> 法令、県・市条例等【 玉名市農村公園条例 】 <input type="checkbox"/> その他の計画【 】 <input type="checkbox"/> 該当なし				
事業区分 【6】	<input type="checkbox"/> ソフト事業 <input type="checkbox"/> 義務的的事业 <input type="checkbox"/> 建設・整備事業 <input checked="" type="checkbox"/> 施設の維持管理事業 <input type="checkbox"/> 内部管理事務 <input type="checkbox"/> 計画等の策定事務				
会計区分 【7】	<input checked="" type="checkbox"/> 一般会計 <input type="checkbox"/> 特別・企業会計【 】【 款 6 項 1 目 14 細目 17				

《事務事業の目的》

事務事業の実施背景(どのような問題又はニーズがあるのか) 【8】	農村における憩いの場として設置された農村公園の維持管理を行っていく必要がある。
対象 (誰、何に対して、受益者等) 【9】	農村公園利用者
意図 (どのような状態にしたいか) 【10】	農村公園の利用者が憩いの場として、常に快適に利用できるようにする。

《事務事業の概要》

事業期間 【11】	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返し <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 【 年度】 【 H17 年度から】 【 年度～ 年度まで】	
事業主体 【12】	<input type="checkbox"/> 国 <input type="checkbox"/> 県 <input checked="" type="checkbox"/> 市 <input type="checkbox"/> 民間 <input type="checkbox"/> その他【 】	
実施方法 【13】	<input type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 全部委託・請負 <input checked="" type="checkbox"/> 一部委託・請負 <input type="checkbox"/> 補助金等交付 <input type="checkbox"/> その他【 】	
事務事業の具体的内容 【14】	市内12箇所ある農村公園の清掃、剪定、除草等を行う。	【15】 事務事業を構成する細事業(1)本 ⇒ ① 農業公園管理事業 ② ③

《事務事業実施に係るコスト》

		H28年度決算	H29年度決算	H30年度決算	H31年度予算	全体計画
投入コスト	事業費 (千円)	国庫支出金	0	0	0	0
		県支出金	0	0	0	0
		起債	0	0	0	0
		受益者負担	0	0	0	0
		その他	0	0	0	0
		一般財源	1,984	1,505	1,093	1,353
		【16】 小 計	1,984	1,505	1,093	1,353
	[再掲]臨時・非常勤職員人件費(千円)	0	0	0	0	
	職人 員 件 の 費	職員人工数	0.12	0.10	0.10	0.10
		職員の年間平均給与額(千円)	5,925	5,896	5,896	5,896
		【17】 小 計	711	590	590	590
合 計		2,695	2,095	1,683	1,943	

《事務事業の手段と活動指標》 【18】

事務事業を構成する細事業	手段(細事業の具体的内容)	活動指標	単位	H28実績	H29実績	H30実績	H31計画
① 農業公園管理事業	公園の除草等維持管理の委託を行う。	委託件数	件	3	3	3	3
②							
③							

《コスト評価による年度比較》 【19】

コスト評価	対象(市民)	H28年度決算		H29年度決算		H30年度決算		H31年度予算								
		投入コスト合計(千円)	対象1単位あたりのコスト(千円)	コスト評価(対前年比)	H28実績	H29実績	H30実績	H31計画								
		67577	0	***	67242	0	127.98%	(↑)	66850	0	123.75%	(↑)	66319	0	85.94%	(↓)

《事務事業の成果》 【20】

成果指標(意図の数値化)	計算方法又は説明	単位	H28目標	H29目標	H30目標	H31目標
			H28実績	H29実績	H30実績	H31実績
1 苦情件数	農村公園における利用者からの苦情件数	件	0	0	0	0
2			1	0	0	

* 成果未達成時の理由

《事務事業の評価》

		評価の視点	評価結果	
妥当性 【21】	<input checked="" type="checkbox"/> ・市が実施するよう法令等で義務づけられている	<input checked="" type="checkbox"/> ・コスト評価の対前年度比は、前年度と比較して改善している <input type="checkbox"/> ・直近2年で、コスト削減の努力・または検討はしているが、下がる余地は小さい <input type="checkbox"/> ・民間など、他の実施主体を活用し、成果を維持したまま事業費等の削減が可能である <input type="checkbox"/> ・電子化等の事務改善、契約や人員の見直し、市の負担(補助)割合を下げること等により、コスト削減の余地がある <input checked="" type="checkbox"/> ・サービスを維持するためこれ以外、他に手段が見当たらない <input type="checkbox"/> ・現在の手段は過剰なサービスのため、改善の余地がある	妥当性評価	
	<input type="checkbox"/> ・法令等で義務づけられていないが、実施しなければ大半の市民の日常生活に支障をきたす		a 高い b やや高い c やや低い d 低い	
<input type="checkbox"/> ・市が事業へ関与する必要が薄れている	b			
<input type="checkbox"/> ・対象者は限定的であるが社会的弱者等を対象としている				
<input type="checkbox"/> ・利用者、対象者の減少など、市民ニーズの低下傾向がみられる				
<input type="checkbox"/> ・現在の市を取り巻く環境からも目的・意図する成果は妥当である				
<input type="checkbox"/> ・事業開始当初の目的から変化してきている				
<input type="checkbox"/> ・厳しい財政状況の中、実施する緊急性が認められない				
効率性 【22】	<input checked="" type="checkbox"/> ・成果指標を設定している	<input checked="" type="checkbox"/> ・成果指標の目標値を達成した <input type="checkbox"/> ・現在の事業を継続しても成果の向上は期待できない <input type="checkbox"/> ・手段を工夫することで、さらに成果を向上させることができる <input checked="" type="checkbox"/> ・法定事務であり成果は求めにくい <input type="checkbox"/> ・事業について積極的にHPや広報等で情報提供している <input type="checkbox"/> ・事業には地域住民、NPO、ボランティア団体等が参画している <input type="checkbox"/> ・国/県/民間が行っている事業と重複、または、他の部等に類似・重複した事務事業があるため、事業内容を見直す余地がある	効率性評価	
	<input type="checkbox"/> ・サービスを維持するためこれ以外、他に手段が見当たらない		a 高い b やや高い c やや低い d 低い	
<input type="checkbox"/> ・現在の手段は過剰なサービスのため、改善の余地がある	a			
有効性 【23】	<input checked="" type="checkbox"/> ・成果指標を設定している		<input checked="" type="checkbox"/> ・成果指標の目標値を達成した <input type="checkbox"/> ・現在の事業を継続しても成果の向上は期待できない <input type="checkbox"/> ・手段を工夫することで、さらに成果を向上させることができる <input checked="" type="checkbox"/> ・法定事務であり成果は求めにくい <input type="checkbox"/> ・事業について積極的にHPや広報等で情報提供している <input type="checkbox"/> ・事業には地域住民、NPO、ボランティア団体等が参画している <input type="checkbox"/> ・国/県/民間が行っている事業と重複、または、他の部等に類似・重複した事務事業があるため、事業内容を見直す余地がある	有効性評価
	<input checked="" type="checkbox"/> ・成果指標の目標値を達成した			a 高い b やや高い c やや低い d 低い
	<input type="checkbox"/> ・現在の事業を継続しても成果の向上は期待できない			b
	<input type="checkbox"/> ・手段を工夫することで、さらに成果を向上させることができる			
	<input checked="" type="checkbox"/> ・法定事務であり成果は求めにくい			
	<input type="checkbox"/> ・事業について積極的にHPや広報等で情報提供している			
公平性	<input type="checkbox"/> ・受益者負担がある ⇒ <input type="checkbox"/> ・金額が妥当 <input type="checkbox"/> ・金額が高すぎる、または安すぎる ・負担率【 0.00 %】	<input checked="" type="checkbox"/> ・受益者負担が無い ⇒ <input type="checkbox"/> ・設定できる <input checked="" type="checkbox"/> ・設定できない理由(受益者が特定できないため) 【24】		
	<input checked="" type="checkbox"/> ・受益者負担が無い ⇒ <input type="checkbox"/> ・設定できる <input checked="" type="checkbox"/> ・設定できない理由(受益者が特定できないため) 【24】			

《前回からのふりかえり結果と今後の方向性》

前回のふりかえりに対して見直し・改善状況 【25】	特になし		
今後の方向性 【26】	<input type="checkbox"/> 拡充して継続 <input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 縮小して継続 <input type="checkbox"/> 執行方法の改善 <input type="checkbox"/> 休止・廃止	総合判定	A
今後の方向性に対する見直し・改善の具体的内容	施設老朽化に伴う維持管理費の増大が懸念されており、安全性に配慮しつつ優先順位をつけて整備を進める。		
次年度への予算反映(連動)	<input type="checkbox"/> ・増額 (細事業名) <input type="checkbox"/> ・減額 (細事業名)		

■評価責任者記入欄

評価責任者(課長)の所見 【27】	ほとんどの公園が合併前に建設されており施設の老朽化により、修繕費が増え続けている。公園の除草などの維持管理は、地元で行って頂いているが、地元管理者の高齢化により維持管理方法についても、地元と協議し検討していく必要がある。	評価責任者 小山 恭徳
-------------------	--	----------------

《事務事業の手段と活動指標》 [18]

事務事業を構成する細事業	手段(細事業の具体的内容)	活動指標	単位	H28実績	H29実績	H30実績	H31計画
① 新玉名駅周辺等整備基本計画進捗管理事業	基本計画策定を行うために、検討会議を開催する。	検討会議開催回数	回	5	6	***	***
② 新玉名駅周辺等整備基本計画策定事業	基本計画進捗のために、会議を開催する。	検討会議開催回数	回	***	***	2	3
③ 新玉名駅周辺等整備基本計画策定事業(H29繰)	基本計画策定を行うために、検討会議を開催する。	検討会議開催回数	回	***	***	3	***

《コスト評価による年度比較》 [19]

コスト評価	対象(全市民)	H28年度決算		H29年度決算		H30年度決算		H31年度予算	
		0	67242	66850	66319				
	投入コスト合計(千円)	0	3,276	15,191	51,895				
	対象1単位あたりのコスト(千円)	0	0	0	1				
	コスト評価(対前年比)	***	0.00%	(-)	21.44%	(↓)	29.04%	(↓)	

《事務事業の成果》 [20]

成果指標(意図の数値化)	計算方法又は説明	単位	H28目標	H29目標	H30目標	H31目標
			H28実績	H29実績	H30実績	H31実績
1 誘導企業数	整備区域内に新たに立地した企業数	企業	***	***	***	1
2			***	***	***	

* 成果未達成時の理由

《事務事業の評価》

		評価の視点	評価結果
妥当性 [21]	<input type="checkbox"/> ・市が実施するよう法令等で義務づけられている <input type="checkbox"/> ・法令等で義務づけられていないが、実施しなければ大半の市民の日常生活に支障をきたす <input type="checkbox"/> ・市が事業へ関与する必要が薄れている <input type="checkbox"/> ・対象者は限定的であるが社会的弱者等を対象としている <input type="checkbox"/> ・利用者、対象者の減少など、市民ニーズの低下傾向がみられる <input checked="" type="checkbox"/> ・現在の市を取り巻く環境からも目的・意図する成果は妥当である <input type="checkbox"/> ・事業開始当初の目的から変化してきている <input type="checkbox"/> ・厳しい財政状況の中、実施する緊急性が認められない		妥当性評価 a 高い b やや高い c やや低い d 低い b
		<input type="checkbox"/> ・コスト評価の対前年度比は、前年度と比較して改善している <input checked="" type="checkbox"/> ・直近2年で、コスト削減の努力・または検討はしているが、下がる余地は小さい <input type="checkbox"/> ・民間など、他の実施主体を活用し、成果を維持したまま事業費等の削減が可能である <input type="checkbox"/> ・電子化等の事務改善、契約や人員の見直し、市の負担(補助)割合を下げること等により、コスト削減の余地がある <input checked="" type="checkbox"/> ・サービスを維持するためこれ以外、他に手段が見当たらない <input type="checkbox"/> ・現在の手段は過剰なサービスのため、改善の余地がある	効率性評価 a 高い b やや高い c やや低い d 低い a
有効性 [23]	<input checked="" type="checkbox"/> ・成果指標を設定している <input type="checkbox"/> ・成果指標の目標値を達成した <input type="checkbox"/> ・現在の事業を継続しても成果の向上は期待できない <input type="checkbox"/> ・手段を工夫することで、さらに成果を向上させることができる <input type="checkbox"/> ・法定事務であり成果は求めにくい <input type="checkbox"/> ・事業について積極的にHPや広報等で情報提供している <input type="checkbox"/> ・事業には地域住民、NPO、ボランティア団体等が参画している <input type="checkbox"/> ・国/県/民間が行っている事業と重複、または、他の部等に類似・重複した事務事業があるため、事業内容を見直す余地がある		有効性評価 a 高い b やや高い c やや低い d 低い c
		<input type="checkbox"/> ・受益者負担がある ⇒ <input type="checkbox"/> ・金額が妥当 <input type="checkbox"/> ・金額が高すぎる、または安すぎる ・負担率【 0.00 %】 <input checked="" type="checkbox"/> ・受益者負担が無い ⇒ <input checked="" type="checkbox"/> ・設定できる <input type="checkbox"/> ・設定できない理由() [24]	

《前回からのふりかえり結果と今後の方向性》

前回のふりかえりに対して見直し・改善状況 [25]	平成30年6月に「新玉名駅周辺等整備基本計画」を策定し、住民説明会を開催した。ただ、基本計画に掲載している整備計画は、開発の方向性を示した概算での整備計画であったため、策定後、関係各課と協議を行い、具体的な公共インフラ及び面的整備を行うため、平成31年度「実施計画」を策定することを決定した。		
今後の方向性 [26]	<input checked="" type="checkbox"/> 拡充して継続 <input type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 縮小して継続 <input type="checkbox"/> 執行方法の改善 <input type="checkbox"/> 休止・廃止	総合判定	C
今後の方向性に対する見直し・改善の具体的内容	平成31年度に実施計画策定を行い、今後の公共インフラ整備・面的整備の進め方を決定する。		
次年度への予算反映(連動)	<input checked="" type="checkbox"/> ・増額 (細事業名) 新玉名駅周辺等整備実施計画策定事業 <input type="checkbox"/> ・減額 (細事業名)		

■評価責任者記入欄

評価責任者(課長)の所見 [27]	<p>今後は、35.6haの整備計画を策定し、事業化に向け、関係上位機関と協議を進めながら、概ね10年を目標に整備を行っていく。</p>	評価責任者 片山 敬治
-------------------	--	----------------

事務ふりかえりシート

《基本情報》

Table with 7 main rows: 1. 事務事業の名称 [1] 公園整備事業 (所管課: 都市整備課, 作成者: 松村兼次) 2. 総合計画での位置付け [3] (基本目標: ④便利で快適な都市づくり, 主要施策: (3)住環境の整備・充実, 施策区分: (4)公園・緑地の整備, 重点施策: 該当) 3. 実施の根拠 (複数回答可) [5] (市長公約, 新市建設計画, 法令, 都市公園法, 玉名市都市公園条例, その他の計画) 4. 事業区分 [6] (ソフト事業, 義務的的事业, 建設・整備事業, 施設の維持管理事業, 内部管理事務, 計画等の策定事務) 5. 会計区分 [7] (一般会計, 特別・企業会計) 6. 科目番号 8 7. 目番号 5 8. 細目番号 2

《事務事業の目的》

Table with 3 rows: 1. 事務事業の実施背景 (どの様な問題又はニーズがあるのか) [8] (公園緑地は自然とのふれあいやレクリエーションの場として、幅広い年齢層の健康づくりや交流活動に役立つとともに大気汚染防止、気温上昇の緩和などの環境面や災害時の避難地、延焼防止など都市防災性の向上に貢献するなど、多くの機能を備えた施設であるため都市生活に必要とされている。) 2. 対象 (誰、何に対して、受益者等) [9] (都市公園利用者) 3. 意図 (どのような状態にしたいか) [10] (公園施設の具体的な改善を行うことで、維持管理のライフサイクルコスト削減が図られる。また、子供や高齢者など誰もが安全で安心した公園の利用促進に繋げる。)

《事務事業の概要》

Table with 4 main rows: 1. 事業期間 [11] (単年度のみ, 単年度繰返し, 期間限定複数年度) 2. 事業主体 [12] (国, 県, 市, 民間, その他) 3. 実施方法 [13] (直営, 全部委託・請負, 一部委託・請負, 補助金等交付, その他) 4. 事務事業の具体的内容 [14] (蛇ヶ谷公園、桃田運動公園、岱明中央公園、古閑近隣公園、横枕児童公園、北前原区公園、おおみなと児童公園、立山健康広場、梅林児童公園、雲雀ヶ丘第3公園、裏川水際緑地、滑石河川緑地、浜田児童公園、ひらしま児童公園、はまいで児童公園、亀甲児童公園、本堂山緑地等の都市公園のバリアフリー化及び長寿命化計画に照らした改築更新。 [15] 事務事業を構成する細事業 (1)本 ① 公園再整備事業)

《事務事業実施に係るコスト》

Table with 7 columns: 年度 (H28年度決算, H29年度決算, H30年度決算, H31年度予算, 全体計画) and rows for costs: 1. 事業費 (千円) (国庫支出金, 県支出金, 起債, 受益者負担, その他, 一般財源, 小計 [16]) 2. 職員人件費 (職員人工数, 職員の年間平均給与額(千円), 小計 [17]) 3. 合計

《事務事業の手段と活動指標》 [18]

事務事業を構成する細事業	手段(細事業の具体的内容)	活動指標	単位	H28実績	H29実績	H30実績	H31計画
① 公園再整備事業	公園の園路・遊具の改築更新及びバリアフリー化を行う。	整備箇所数	箇所	4	6	1	***
②							
③							

《コスト評価による年度比較》 [19]

コスト評価	H28年度決算		H29年度決算		H30年度決算		H31年度予算	
	対象(市民)	67577	67242	66850	66319			
投入コスト合計(千円)	18,764	22,189	17,308	0				
対象1単位あたりのコスト(千円)	0	0	0	0				
コスト評価(対前年比)	***	84.14%	(↓)	127.45%	(↑)	0.00%	(-)	

《事務事業の成果》 [20]

成果指標(意図の数値化)	計算方法又は説明	単位	H28目標	H29目標	H30目標	H31目標
			H28実績	H29実績	H30実績	H31実績
1 計画整備率(2期)	整備済箇所数/整備計画箇所数(30箇所)×100	%	57	73	80	***
			57	77	80	
2						

* 成果未達成時の理由

《事務事業の評価》

	評価の視点	評価結果
[21] 妥当性	<input type="checkbox"/> ・市が実施するよう法令等で義務づけられている <input type="checkbox"/> ・法令等で義務づけられていないが、実施しなければ大半の市民の日常生活に支障をきたす <input type="checkbox"/> ・市が事業へ関与する必要が薄れている <input type="checkbox"/> ・対象者は限定的であるが社会的弱者等を対象としている <input type="checkbox"/> ・利用者、対象者の減少など、市民ニーズの低下傾向がみられる <input type="checkbox"/> ・現在の市を取り巻く環境からも目的・意図する成果は妥当である <input type="checkbox"/> ・事業開始当初の目的から変化してきている <input type="checkbox"/> ・厳しい財政状況の中、実施する緊急性が認められない	妥当性評価 a 高い b やや高い c やや低い d 低い b
	[22] 効率性	<input type="checkbox"/> ・コスト評価の対前年度比は、前年度と比較して改善している <input checked="" type="checkbox"/> ・直近2年で、コスト削減の努力・または検討はしているが、下がる余地は小さい <input type="checkbox"/> ・民間など、他の実施主体を活用し、成果を維持したまま事業費等の削減が可能である <input type="checkbox"/> ・電子化等の事務改善、契約や人員の見直し、市の負担(補助)割合を下げること等により、コスト削減の余地がある <input checked="" type="checkbox"/> ・サービスを維持するためこれ以外、他に手段が見当たらない <input type="checkbox"/> ・現在の手段は過剰なサービスのため、改善の余地がある
[23] 有効性		<input checked="" type="checkbox"/> ・成果指標を設定している <input checked="" type="checkbox"/> ・成果指標の目標値を達成した <input type="checkbox"/> ・現在の事業を継続しても成果の向上は期待できない <input type="checkbox"/> ・手段を工夫することで、さらに成果を向上させることができる <input type="checkbox"/> ・法定事務であり成果は求めにくい <input type="checkbox"/> ・事業について積極的にHPや広報等で情報提供している <input type="checkbox"/> ・事業には地域住民、NPO、ボランティア団体等が参画している <input type="checkbox"/> ・国/県/民間が行っている事業と重複、または、他の部等に類似・重複した事務事業があるため、事業内容を見直す余地がある
	[24] 公平性	<input type="checkbox"/> ・受益者負担がある ⇒ <input type="checkbox"/> ・金額が妥当 <input type="checkbox"/> ・金額が高すぎる、または安すぎる ・負担率【 0.00 %】 <input type="checkbox"/> ・受益者負担が無い ⇒ <input type="checkbox"/> ・設定できる <input type="checkbox"/> ・設定できない理由()

《前回からのふりかえり結果と今後の方向性》

前回のふりかえりに対して見直し・改善状況 [25]	特になし		
今後の方向性 [26]	<input type="checkbox"/> 拡充して継続 <input type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 縮小して継続 <input type="checkbox"/> 執行方法の改善 <input checked="" type="checkbox"/> 休止・廃止	総合判定	A
今後の方向性に対する見直し・改善の具体的内容	都市公園内の遊具及び施設は、計画的に改築・更新を行ってきたため、全体として健全度が改善されている。そのため、改築・更新を一度休止し、突発的な故障の対応を行いながら、遊具及び施設の健全度が下がってきた場合、事業を再開する。		
次年度への予算反映(連動)	<input type="checkbox"/> ・増額 (細事業名) <input checked="" type="checkbox"/> ・減額 (細事業名) 公園再整備事業		

■ 評価責任者記入欄

[27] 評価責任者(課長)の所見	公園は市民にとって必要な憩いの場なので、今後も公園の環境整備を継続して行き、公園施設の充実を図っていく。	評価責任者 片山敬治
-------------------	--	---------------

事務ふりかえりシート

《基本情報》

事務事業の名称 【1】	公園管理事業	所管課 【2】	都市整備課
		作成者(担当者)	松村 兼次
総合計画での位置付け 【3】	基本目標(章)	④便利で快適な都市づくり	
	主要施策(節)	(3)住環境の整備・充実	
	施策区分	(4)公園・緑地の整備	
重点施策 【4】			
	<input type="checkbox"/> 該当		
実施の根拠 (複数回答可) 【5】	<input type="checkbox"/> 市長公約 <input type="checkbox"/> 新市建設計画【 年度予定 : 金額 0 千円】 <input checked="" type="checkbox"/> 法令、県・市条例等【 玉名市都市公園条例(都市公園法) 】 <input type="checkbox"/> その他の計画【 】 <input type="checkbox"/> 該当なし		
事業区分 【6】	<input type="checkbox"/> ソフト事業 <input type="checkbox"/> 義務的的事业 <input type="checkbox"/> 建設・整備事業 <input checked="" type="checkbox"/> 施設の維持管理事業 <input type="checkbox"/> 内部管理事務 <input type="checkbox"/> 計画等の策定事務		
会計区分 【7】	<input checked="" type="checkbox"/> 一般会計 <input type="checkbox"/> 特別・企業会計【 款 8 項 5 目 6 細目 1		

《事務事業の目的》

事務事業の実施背景(どのような問題又はニーズがあるのか) 【8】	都市における生活環境を向上させ、スポーツ、文化活動等多様なレクリエーション需要の充足に資するとともに、災害時の避難場所、延焼防止など緑豊かで安全快適な都市環境を創造することを目的として整備した都市公園の維持管理を行う必要がある。
対象 (誰、何に対して、受益者等) 【9】	都市公園利用者
意図 (どのような状態にしたいか) 【10】	憩いの場として常に快適に利用できるようにする。

《事務事業の概要》

事業期間 【11】	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返し <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 【 年度】 【 H17 年度から】 【 年度～ 年度まで】
事業主体 【12】	<input type="checkbox"/> 国 <input type="checkbox"/> 県 <input checked="" type="checkbox"/> 市 <input type="checkbox"/> 民間 <input type="checkbox"/> その他【 】
実施方法 【13】	<input type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 全部委託・請負 <input checked="" type="checkbox"/> 一部委託・請負 <input type="checkbox"/> 補助金等交付 <input type="checkbox"/> その他【 】
事務事業の具体的な内容 【14】	都市公園の維持管理を目的に下記の公園の清掃及び除草等の業務を行う。 ・都市公園管理業務、・裏川水際緑地花菖蒲管理業務 ・古閑近隣公園緑地維持管理業務、・河川敷緑地帯除草業務 ・都市公園使用・占用許可事務、・都市公園工事請負事業 ・大倉河川緑地トイレ設置事業
	【15】 事務事業を構成する細事業(5)本 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <input checked="" type="checkbox"/> ① 都市公園管理業務 <input checked="" type="checkbox"/> ② 裏川水際緑地花菖蒲管理業務委託 <input checked="" type="checkbox"/> ③ 古閑近隣公園等緑地維持管理業務 </div>

《事務事業実施に係るコスト》

		H28年度決算	H29年度決算	H30年度決算	H31年度予算	全体計画
投入コスト	事業費 (千円)	国庫支出金	0	0	0	0
		県支出金	0	0	0	0
		起債	0	0	0	9,500
		受益者負担	447	434	63	60
		その他	0	0	384	476
		一般財源	46,944	77,827	42,742	53,086
		【16】 小計	47,391	78,261	43,189	63,122
	[再掲]臨時・非常勤職員人件費(千円)		0	0	0	0
	職人 員 件 の 費	職員人工数	0.60	0.50	0.60	0.60
		職員の年間平均給与額(千円)	5,925	5,896	5,896	5,896
		【17】 小計	3,555	2,948	3,538	3,538
合計		50,946	81,209	46,727	66,660	

《事務事業の手段と活動指標》 [18]

事務事業を構成する細事業	手段(細事業の具体的内容)	活動指標	単位	H28実績	H29実績	H30実績	H31計画
① 都市公園管理業務	委託して清掃、除草、維持管理を行う。(シルパー、自治区等)	管理委託件数	件	29	29	31	32
② 裏川水際緑地花菖蒲管理業務委託	委託して株分・維持管理を行う。(請負業者)	管理委託件数	件	2	2	2	2
③ 古閑近隣公園等緑地維持管理業務	委託して除草・低木剪定・消毒等の維持管理を行う。(請負業者)	管理委託件数	件	1	1	1	1

《コスト評価による年度比較》 [19]

コスト評価	H28年度決算		H29年度決算		H30年度決算		H31年度予算	
	対象(市民)	67577	67242	66850	66319			
投入コスト合計(千円)	50,946	81,209	46,727	66,660				
対象1単位あたりのコスト(千円)	1	1	1	1				
コスト評価(対前年比)	***	62.42%	(↓)	172.78%	(↑)	69.54%	(↓)	

《事務事業の成果》 [20]

成果指標(意図の数値化)	計算方法又は説明	単位	H28目標	H29目標	H30目標	H31目標
			H28実績	H29実績	H30実績	H31実績
1 苦情の対応率	都市公園等における苦情の対応率	%	100	100	100	100
2			100	100	100	

* 成果未達成時の理由

《事務事業の評価》

		評価の視点	評価結果
妥当性 [21]	<input type="checkbox"/>	市が実施するよう法令等で義務づけられている	妥当性評価 a 高い b やや高い c やや低い d 低い
	<input checked="" type="checkbox"/>	法令等で義務づけられていないが、実施しなければ大半の市民の日常生活に支障をきたす	
効率性 [22]	<input type="checkbox"/>	市が事業へ関与する必要が薄れている	効率性評価 a 高い b やや高い c やや低い d 低い
	<input checked="" type="checkbox"/>	対象者は限定的であるが社会的弱者等を対象としている	
有効性 [23]	<input type="checkbox"/>	利用者、対象者の減少など、市民ニーズの低下傾向がみられる	有効性評価 a 高い b やや高い c やや低い d 低い
	<input checked="" type="checkbox"/>	現在の市を取り巻く環境からも目的・意図する成果は妥当である	
公平性 [24]	<input type="checkbox"/>	事業開始当初の目的から変化してきている	公平性評価 a 高い b やや高い c やや低い d 低い
	<input checked="" type="checkbox"/>	厳しい財政状況の中、実施する緊急性が認められない	
		<input checked="" type="checkbox"/> コスト評価の対前年度比は、前年度と比較して改善している <input type="checkbox"/> 直近2年で、コスト削減の努力・または検討はしているが、下がる余地は小さい <input type="checkbox"/> 民間など、他の実施主体を活用し、成果を維持したまま事業費等の削減が可能である <input type="checkbox"/> 電子化等の事務改善、契約や人員の見直し、市の負担(補助)割合を下げること等により、コスト削減の余地がある <input checked="" type="checkbox"/> サービスを維持するためこれ以外、他に手段が見当たらない <input type="checkbox"/> 現在の手段は過剰なサービスのため、改善の余地がある	妥当性評価 効率性評価 有効性評価 公平性評価
		<input checked="" type="checkbox"/> 成果指標を設定している <input checked="" type="checkbox"/> 成果指標の目標値を達成した <input type="checkbox"/> 現在の事業を継続しても成果の向上は期待できない <input type="checkbox"/> 手段を工夫することで、さらに成果を向上させることができる <input type="checkbox"/> 法定事務であり成果は求めにくい <input type="checkbox"/> 事業について積極的にHPや広報等で情報提供している <input type="checkbox"/> 事業には地域住民、NPO、ボランティア団体等が参画している <input type="checkbox"/> 国/県/民間が行っている事業と重複、または、他の部等に類似・重複した事務事業があるため、事業内容を見直す余地がある	妥当性評価 効率性評価 有効性評価 公平性評価
		<input checked="" type="checkbox"/> 受益者負担がある ⇒ <input checked="" type="checkbox"/> 金額が妥当 □ 金額が高すぎる、または安すぎる ・負担率【 0.13 %】 <input type="checkbox"/> 受益者負担が無い ⇒ <input type="checkbox"/> 設定できる □ 設定できない理由()	妥当性評価 効率性評価 有効性評価 公平性評価

《前回からのふりかえり結果と今後の方向性》

前回のふりかえりに対して見直し・改善状況 [25]	蛇ヶ谷公園、桃田運動公園、岱明中央公園に関しては、指定管理2年目で、1年目の昨年度に比べると、指定管理側からの問い合わせは、減少傾向にある。		
今後の方向性 [26]	<input type="checkbox"/> 拡充して継続 <input type="checkbox"/> 執行方法の改善	<input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 休止・廃止	<input type="checkbox"/> 縮小して継続 <input type="checkbox"/> 縮小して継続
今後の方向性に対する見直し・改善の具体的内容	R元年度から蛇ヶ谷公園の指定管理者が変わるため、対応が増える見込み。施設の突発的な対応が増加傾向であるため、継続して対応を行う。		
次年度への予算反映(連動)	<input type="checkbox"/> 増額 (細事業名) <input type="checkbox"/> 減額 (細事業名)		

■評価責任者記入欄

評価責任者(課長)の所見 [27]	公園は市民にとって必要な憩いの場なので、今後も公園の維持管理を適切に行い、安全に、安心して利用していただけるよう施設の維持管理に努める。	評価責任者 片山 敬治
-------------------	--	----------------

事務ふりかえりシート

《基本情報》

事務事業の名称 【1】	花の都づくり推進事業		所管課【2】	都市整備課
総合計画での位置付け 【3】	基本目標(章)	④便利で快適な都市づくり		
	主要施策(節)	(3)住環境の整備・充実		
	施策区分	(5)「花の都 玉名」づくりの推進		
実施の根拠 (複数回答可) 【5】	<input type="checkbox"/> 市長公約 <input type="checkbox"/> 新市建設計画【 年度予定 : 金額 0千円】 <input checked="" type="checkbox"/> 法令、県・市条例等【 玉名市花の拠点づくり事業材料等支給要綱 】 <input type="checkbox"/> その他の計画【 】 <input type="checkbox"/> 該当なし			
事業区分 【6】	<input checked="" type="checkbox"/> ソフト事業 <input type="checkbox"/> 義務的事業 <input type="checkbox"/> 建設・整備事業 <input type="checkbox"/> 施設の維持管理事業 <input type="checkbox"/> 内部管理事務 <input type="checkbox"/> 計画等の策定事務			
会計区分 【7】	<input checked="" type="checkbox"/> 一般会計 <input type="checkbox"/> 特別・企業会計【		】	款 8 項 5 目 6 細目 2

《事務事業の目的》

事務事業の実施背景(どのような問題又はニーズがあるのか) 【8】	花と緑があふれるまちづくりを目指すために、市内小学校や玉名21の星事業、ボランティア団体・各種団体による「花の都玉名」づくりを推進し、これを継承していく人材の育成を支援する必要がある。
対象 (誰、何に対して、受益者等) 【9】	市民、来訪者
意図 (どのような状態にしたいか) 【10】	花の植栽により、地域住民や玉名を訪れる人々に安らぎのある景観を提供し、玉名市のイメージアップを目指す。

《事務事業の概要》

事業期間 【11】	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返し <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 【 年度】 【 H17 年度から】 【 年度～ 年度まで】		
事業主体 【12】	<input type="checkbox"/> 国 <input type="checkbox"/> 県 <input checked="" type="checkbox"/> 市 <input type="checkbox"/> 民間 <input type="checkbox"/> その他【 】		
実施方法 【13】	<input type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 全部委託・請負 <input checked="" type="checkbox"/> 一部委託・請負 <input type="checkbox"/> 補助金等交付 <input type="checkbox"/> その他【 】		
事務事業の具体的内容 【14】	<p>花の拠点づくりを行うことによって、地域が花でいっぱいになるよう事業を行っている。花づくりを行う団体に対し、材料等(種、肥料、土、その他材料及び資材)の支給や、支援を行う。</p> <p>・花づくり団体及び学校による花づくり拠点の維持。 ・公共施設及び自治会等への花苗配布</p>	⇒	【15】 事務事業を構成する細事業(2)本 ① 花の拠点づくり事業 ② 花の都づくり推進事業 ③

《事務事業実施に係るコスト》

		H28年度決算	H29年度決算	H30年度決算	H31年度予算	全体計画
投入コスト	事業費 (千円)	国庫支出金	0	0	0	0
		県支出金	0	0	0	0
		起債	0	0	0	0
		受益者負担	0	0	0	0
		その他	0	0	0	0
		一般財源	9,207	9,511	9,375	9,977
		【16】 小 計	9,207	9,511	9,375	9,977
	[再掲]臨時・非常勤職員人件費(千円)	0	0	0	0	
	職人 員 件 の 費	職員人工数	0.40	0.60	0.50	0.50
		職員の年間平均給与額(千円)	5,925	5,896	5,896	5,896
		【17】 小 計	2,370	3,538	2,948	2,948
合 計	11,577	13,049	12,323	12,925		

《事務事業の手段と活動指標》 [18]

事務事業を構成する細事業	手段(細事業の具体的内容)	活動指標	単位	H28実績	H29実績	H30実績	H31計画
① 花の拠点づくり事業	肥料及び種子の助成。	支給団体数	団体	11	9	9	9
② 花の都づくり推進事業	シルバー委託により花苗を育苗する。	育苗した花苗数	本	64,220	58,594	65,813	67,000
③							

《コスト評価による年度比較》 [19]

コスト評価		H28年度決算	H29年度決算	H30年度決算	H31年度予算
	対象(市民)	67577	67242	66850	66319
	投入コスト合計(千円)	11,577	13,049	12,323	12,925
	対象1単位あたりのコスト(千円)	0	0	0	0
コスト評価(対前年比)	***	88.28%	(↓)	105.27%	(↑)

《事務事業の成果》 [20]

成果指標(意図の数値化)	計算方法又は説明	単位	H28目標	H29目標	H30目標	H31目標
			H28実績	H29実績	H30実績	H31実績
1 植込み箇所	地域で植込みを行った花壇数(拠点花壇数)	箇所	43	43	45	45
2 花苗配布箇所	花苗を施設および団体に配布、植栽した箇所数(シルバー委託)	箇所	32	74	69	72
			72	69	72	

* 成果未達成時の理由

《事務事業の評価》

	評価の視点	評価結果
妥当性 [21]	<input type="checkbox"/> ・市が実施するよう法令等で義務づけられている	妥当性評価 a 高い b やや高い c やや低い d 低い
	<input type="checkbox"/> ・法令等で義務づけられていないが、実施しなければ大半の市民の日常生活に支障をきたす	
	<input type="checkbox"/> ・市が事業へ関与する必要が薄れている	
	<input type="checkbox"/> ・対象者は限定的であるが社会的弱者等を対象としている	
効率性 [22]	<input checked="" type="checkbox"/> ・利用者、対象者の減少など、市民ニーズの低下傾向がみられる	効率性評価 a 高い b やや高い c やや低い d 低い
	<input checked="" type="checkbox"/> ・現在の市を取り巻く環境からも目的・意図する成果は妥当である	
	<input type="checkbox"/> ・事業開始当初の目的から変化してきている	
	<input type="checkbox"/> ・厳しい財政状況の中、実施する緊急性が認められない	
有効性 [23]	<input checked="" type="checkbox"/> ・コスト評価の対前年度比は、前年度と比較して改善している	有効性評価 a 高い b やや高い c やや低い d 低い
	<input type="checkbox"/> ・直近2年で、コスト削減の努力・または検討はしているが、下がる余地は小さい	
	<input type="checkbox"/> ・民間など、他の実施主体を活用し、成果を維持したまま事業費等の削減が可能である	
	<input type="checkbox"/> ・電子化等の事務改善、契約や人員の見直し、市の負担(補助)割合を下げること等により、コスト削減の余地がある	
公平性	<input checked="" type="checkbox"/> ・サービスを維持するためこれ以外、他に手段が見当たらない	[24]
	<input type="checkbox"/> ・現在の手段は過剰なサービスのため、改善の余地がある	
	<input checked="" type="checkbox"/> ・成果指標を設定している	
	<input checked="" type="checkbox"/> ・成果指標の目標値を達成した	
公平性	<input type="checkbox"/> ・現在の事業を継続しても成果の向上は期待できない	公平性評価 a 高い b やや高い c やや低い d 低い
	<input type="checkbox"/> ・手段を工夫することで、さらに成果を向上させることができる	
	<input type="checkbox"/> ・法定事務であり成果は求めにくい	
	<input checked="" type="checkbox"/> ・事業について積極的にHPや広報等で情報提供している	
公平性	<input type="checkbox"/> ・事業には地域住民、NPO、ボランティア団体等が参画している	公平性評価 a 高い b やや高い c やや低い d 低い
	<input type="checkbox"/> ・国/県/民間が行っている事業と重複、または、他の部等に類似・重複した事務事業があるため、事業内容を見直す余地がある	
	<input type="checkbox"/> ・受益者負担がある ⇒ <input type="checkbox"/> ・金額が妥当 <input type="checkbox"/> ・金額が高すぎる、または安すぎる ・負担率【 0.00 %】	
	<input checked="" type="checkbox"/> ・受益者負担が無い ⇒ <input type="checkbox"/> ・設定できる <input checked="" type="checkbox"/> ・設定できない理由(市推進事業のため)	

《前回からのふりかえり結果と今後の方向性》

前回のふりかえりに対して見直し・改善状況 [25]	無料配布希望団体も増え、今後も事業を継続して行う。		
今後の方向性 [26]	<input type="checkbox"/> 拡充して継続 <input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 縮小して継続	総合判定	A
今後の方向性に対する見直し・改善の具体的内容	花づくりを定着させ、「花の都玉名」づくりをコンセプトに花苗の生産と配布、公園への植栽管理を今後も継続して行う。		
次年度への予算反映(連動)	<input type="checkbox"/> ・増額 (細事業名)		
	<input type="checkbox"/> ・減額 (細事業名)		

■ 評価責任者記入欄

評価責任者(課長)の所見 [27]	花があふれるまちのイメージを定着させるために、今後も継続して行っていく。	評価責任者 片山敬治
-------------------	--------------------------------------	---------------

《事務事業の手段と活動指標》 [18]

事務事業を構成する細事業	手段(細事業の具体的内容)	活動指標	単位	H28実績	H29実績	H30実績	H31計画
① 都市公園以外公園管理事業	公園の除草、清掃等の維持管理委託、及び修繕を行う。	委託、修繕件数	件	14	7	11	10
② 山の上展望公園舗装事業	駐車場の舗装工事を行う。	舗装面積	m ²	809	0	430	***
③ 山の上展望公園展望所整備事業	展望所を整備する	整備面積	m ²		***	50	***

《コスト評価による年度比較》 [19]

コスト評価	H28年度決算		H29年度決算		H30年度決算		H31年度予算	
	対象(市民)	67577	67242	66850	66319			
	投入コスト合計(千円)	17,342	20,846	42,490	10,027			
	対象1単位あたりのコスト(千円)	0	0	1	0			
	コスト評価(対前年比)	***	82.78%	(↓)	48.77%	(↓)	420.40%	(↑)

《事務事業の成果》 [20]

成果指標(意図の数値化)	計算方法又は説明	単位	H28目標	H29目標	H30目標	H31目標
			H28実績	H29実績	H30実績	H31実績
1 公園除草回数(横島地区6公園、天水地区3公園)	委託により除草、剪定等を行った回数	回	42	42	42	25
2 苦情件数	都市公園以外の公園における苦情件数	件	—	0	0	0
			2	0	0	

* 成果未達成時の理由 公園の草刈りを二人で毎月行っていたところを、大人数で年3,4回に変更したため、回数が減少した。

《事務事業の評価》

		評価の視点	評価結果
妥当性 [21]	<input checked="" type="checkbox"/>	市が実施するよう法令等で義務づけられている	妥当性評価 a 高い b やや高い c やや低い d 低い
	<input type="checkbox"/>	法令等で義務づけられていないが、実施しなければ大半の市民の日常生活に支障をきたす	
	<input type="checkbox"/>	市が事業へ関与する必要が薄れている	
	<input type="checkbox"/>	対象者は限定的であるが社会的弱者等を対象としている	
効率性 [22]	<input type="checkbox"/>	利用者、対象者の減少など、市民ニーズの低下傾向がみられる	効率性評価 a 高い b やや高い c やや低い d 低い
	<input checked="" type="checkbox"/>	現在の市を取り巻く環境からも目的・意図する成果は妥当である	
	<input type="checkbox"/>	事業開始当初の目的から変化してきている	
	<input type="checkbox"/>	厳しい財政状況の中、実施する緊急性が認められない	
有効性 [23]	<input type="checkbox"/>	コスト評価の対前年度比は、前年度と比較して改善している	有効性評価 a 高い b やや高い c やや低い d 低い
	<input type="checkbox"/>	直近2年で、コスト削減の努力・または検討はしているが、下がる余地は小さい	
	<input type="checkbox"/>	民間など、他の実施主体を活用し、成果を維持したまま事業費等の削減が可能である	
	<input type="checkbox"/>	電子化等の事務改善、契約や人員の見直し、市の負担(補助)割合を下げること等により、コスト削減の余地がある	
公平性 [24]	<input checked="" type="checkbox"/>	サービスを維持するためこれ以外、他に手段が見当たらない	公平性評価 a 高い b やや高い c やや低い d 低い
	<input type="checkbox"/>	現在の手段は過剰なサービスのため、改善の余地がある	
	<input checked="" type="checkbox"/>	成果指標を設定している	
	<input type="checkbox"/>	成果指標の目標値を達成した	
公平性 [24]	<input type="checkbox"/>	現在の事業を継続しても成果の向上は期待できない	公平性評価 a 高い b やや高い c やや低い d 低い
	<input type="checkbox"/>	手段を工夫することで、さらに成果を向上させることができる	
	<input type="checkbox"/>	法定事務であり成果は求めにくい	
	<input type="checkbox"/>	事業について積極的にHPや広報等で情報提供している	
公平性 [24]	<input type="checkbox"/>	事業には地域住民、NPO、ボランティア団体等が参画している	公平性評価 a 高い b やや高い c やや低い d 低い
	<input type="checkbox"/>	国/県/民間が行っている事業と重複、または、他の部等に類似・重複した事務事業があるため、事業内容を見直す余地がある	
	<input type="checkbox"/>	受益者負担がある ⇒ <input type="checkbox"/> 金額が妥当 <input type="checkbox"/> 金額が高すぎる、または安すぎる ・負担率【 0.00 %】	
	<input checked="" type="checkbox"/>	受益者負担が無い ⇒ <input type="checkbox"/> 設定できる <input checked="" type="checkbox"/> 設定できない理由(公園管理のため)	

《前回からのふりかえり結果と今後の方向性》

前回のふりかえりに対して見直し・改善状況 [25]	特になし		
今後の方向性 [26]	<input type="checkbox"/> 拡充して継続 <input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 縮小して継続	総合判定	C
今後の方向性に対する見直し・改善の具体的内容	適切な維持管理を行い、利用者が安全、安心に利用できるよう現状のまま継続していく。		
次年度への予算反映(連動)	<input type="checkbox"/> 増額 (細事業名)		
	<input type="checkbox"/> 減額 (細事業名)		

■ 評価責任者記入欄 ■

評価責任者(課長)の所見 [27]	公園は市民にとって必要な憩いの場なので、今後も公園の維持管理を継続して行い、公園施設の充実に努めていく。	評価責任者 片山 敬治
-------------------	--	----------------

《事務事業の手段と活動指標》 [18]

事務事業を構成する細事業	手段(細事業の具体的内容)	活動指標	単位	H28実績	H29実績	H30実績	H31計画
① 入退去業務	入居者の募集・案内、退去時の敷金精算。	入居数及び退去数	件	115	76	88	80
② 住民異動等窓口業務	出生、死亡、転出、収入の変更等の異動手続き。	異動処理件数	件	167	152	128	128
③ 家賃算定業務	収入申告にもとづく住宅使用料の算定。	家賃算定件数	件	1030	1012	987	987

《コスト評価による年度比較》 [19]

コスト評価	H28年度決算		H29年度決算		H30年度決算		H31年度予算	
	対象(家賃算定件数)	1030	1012	987	987	1030	1012	987
投入コスト合計(千円)	10,650	12,156	13,451	13,414	10,650	12,156	13,451	
対象1単位あたりのコスト(千円)	10	12	14	14	10	12	14	
コスト評価(対前年比)	***	86.08%	(↓)	88.14%	(↓)	100.28%	(↑)	

《事務事業の成果》 [20]

成果指標(意図の数値化)	計算方法又は説明	単位	H28目標	H29目標	H30目標	H31目標
			H28実績	H29実績	H30実績	H31実績
1 住宅使用料徴収率(現年度分)	収入額/調定額×100 近年でもっとも高い平成27年度の収納率99.17%を目標とする	%	100	100	99.17	99.17
2 入居稼働率	入居戸数/提供可能戸数×100	%	100	100	100	100

* 成果未達成時の理由 景気の低迷や世帯状況の複雑化による収納率の低下が考えられる。今後も納付相談を積極的に行い、収納率の向上を目指す。

《事務事業の評価》

		評価の視点	評価結果
妥当性 [21]	<input type="checkbox"/> ・市が実施するよう法令等で義務づけられている <input type="checkbox"/> ・法令等で義務づけられていないが、実施しなければ大半の市民の日常生活に支障をきたす <input type="checkbox"/> ・市が事業へ関与する必要が薄れている <input checked="" type="checkbox"/> ・対象者は限定的であるが社会的弱者等を対象としている <input type="checkbox"/> ・利用者、対象者の減少など、市民ニーズの低下傾向がみられる <input checked="" type="checkbox"/> ・現在の市を取り巻く環境からも目的・意図する成果は妥当である <input type="checkbox"/> ・事業開始当初の目的から変化してきている <input type="checkbox"/> ・厳しい財政状況の中、実施する緊急性が認められない		妥当性評価 a 高い b やや高い c やや低い d 低い b
		<input type="checkbox"/> ・コスト評価の対前年度比は、前年度と比較して改善している <input checked="" type="checkbox"/> ・直近2年で、コスト削減の努力・または検討はしているが、下がる余地は小さい <input type="checkbox"/> ・民間など、他の実施主体を活用し、成果を維持したまま事業費等の削減が可能である <input type="checkbox"/> ・電子化等の事務改善、契約や人員の見直し、市の負担(補助)割合を下げること等により、コスト削減の余地がある <input type="checkbox"/> ・サービスを維持するためこれ以外、他に手段が見当たらない <input type="checkbox"/> ・現在の手段は過剰なサービスのため、改善の余地がある	効率性評価 a 高い b やや高い c やや低い d 低い b
有効性 [23]	<input checked="" type="checkbox"/> ・成果指標を設定している <input type="checkbox"/> ・成果指標の目標値を達成した <input type="checkbox"/> ・現在の事業を継続しても成果の向上は期待できない <input type="checkbox"/> ・手段を工夫することで、さらに成果を向上させることができる <input type="checkbox"/> ・法定事務であり成果は求めにくい <input checked="" type="checkbox"/> ・事業について積極的にHPや広報等で情報提供している <input type="checkbox"/> ・事業には地域住民、NPO、ボランティア団体等が参画している <input type="checkbox"/> ・国/県/民間が行っている事業と重複、または、他の部等に類似・重複した事務事業があるため、事業内容を見直す余地がある		有効性評価 a 高い b やや高い c やや低い d 低い b
		<input checked="" type="checkbox"/> ・受益者負担がある ⇒ <input checked="" type="checkbox"/> ・金額が妥当 <input type="checkbox"/> ・金額が高すぎる、または安すぎる ・負担率【 27.68 %】 <input type="checkbox"/> ・受益者負担が無い ⇒ <input type="checkbox"/> ・設定できる <input type="checkbox"/> ・設定できない理由() [24]	

《前回からのふりかえり結果と今後の方向性》

前回のふりかえりに対して見直し・改善状況 [25]	市営住宅の運営においては、住宅使用料の徴収は常に収納状況を確認し、高収納率を維持できている。		
今後の方向性 [26]	<input type="checkbox"/> 拡充して継続 <input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 縮小して継続 <input type="checkbox"/> 執行方法の改善 <input type="checkbox"/> 休止・廃止	総合判定	A
今後の方向性に対する見直し・改善の具体的内容	外部に委託している施設維持管理業務との連携により空室修繕を迅速かつ効率的に行うことで、市民が求めるスピーディーな入退去業務を進めることが出来ている。今後も適正な運営を図りながら現状のまま継続する。		
次年度への予算反映(連動)	<input type="checkbox"/> ・増額 (細事業名) <input type="checkbox"/> ・減額 (細事業名)		

■評価責任者記入欄

評価責任者(課長)の所見 [27]	市営住宅は住宅に困窮する低所得者層への住宅供給を目的とし、厳正な審査を行い、適正な入居管理に努めている。公平公正に行うためにも使用料の徴収率を上げることが課題であり、きめの細やかな丁寧な対応を心がけ、現状のまま継続する。	評価責任者 福島 修生
-------------------	--	----------------

事務ふりかえりシート

<<基本情報>>

事務事業の名称 【1】	市営住宅施設管理業務	所管課【2】	営繕課
		作成者(担当者)	徳永 信貴
総合計画での位置付け 【3】	基本目標(章)	④便利で快適な都市づくり	
	主要施策(節)	(3)住環境の整備・充実	
	施策区分	(3)公営住宅の整備	
		重点 施策【4】	<input type="checkbox"/> 該当
実施の根拠 (複数回答可) 【5】	<input type="checkbox"/> 市長公約 <input type="checkbox"/> 新市建設計画【 年度予定 : 金額 0 千円】 <input checked="" type="checkbox"/> 法令、県・市条例等【 公営住宅法、住宅地区改良法、玉名市営住宅条例、玉名市営単独住宅条例、住生活基本法ほか 】 <input checked="" type="checkbox"/> その他の計画【 住生活基本計画(全国計画)、熊本県住生活基本計画 】 <input type="checkbox"/> 該当なし		
事業区分 【6】	<input type="checkbox"/> ソフト事業 <input type="checkbox"/> 義務的事業 <input type="checkbox"/> 建設・整備事業 <input checked="" type="checkbox"/> 施設の維持管理事業 <input type="checkbox"/> 内部管理事務 <input type="checkbox"/> 計画等の策定事務		
会計区分 【7】	<input checked="" type="checkbox"/> 一般会計 <input type="checkbox"/> 特別・企業会計【 】 款 8 項 6 目 1 細目 3		

<<事務事業の目的>>

事務事業の実施背景(どのような問題又はニーズがあるのか) 【8】	住宅に困窮する低所得者層へ住宅の供給をするにあたり、入居を希望する際の公平性・透明性の確保や入居者が安心して生活を送るための適正な管理運営が求められている。
対象 (誰、何に対して、受益者等) 【9】	市営住宅入居者
意図 (どのような状態にしたいか) 【10】	安全で快適な住環境の確保を図る。

<<事務事業の概要>>

事業期間 【11】	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返し <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 【 年度】 【 H17 年度から】 【 年度～ 年度まで】		
事業主体 【12】	<input type="checkbox"/> 国 <input type="checkbox"/> 県 <input checked="" type="checkbox"/> 市 <input type="checkbox"/> 民間 <input type="checkbox"/> その他【 】		
実施方法 【13】	<input type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 全部委託・請負 <input checked="" type="checkbox"/> 一部委託・請負 <input type="checkbox"/> 補助金等交付 <input type="checkbox"/> その他【 】		
事務事業の具体的な内容 【14】	市営住宅施設の維持管理を円滑に行うため、建物本体の修繕及び非常設備のメンテナンス並びに敷地内の整備を一括して外部に委託する。	➡	【15】 事務事業を構成する細事業(4)本 ① 市営住宅維持管理業務委託事業 ② 施設賠償業務 ③ 放置車両廃棄処分業務

<<事務事業実施に係るコスト>>

		H28年度決算	H29年度決算	H30年度決算	H31年度予算	全体計画
投入コスト	事業費 (千円)	国庫支出金	0	0	0	0
		県支出金	0	0	0	0
		起債	0	0	0	0
		受益者負担	66,338	68,987	72,117	72,052
		その他	0	0	0	0
		一般財源	0	0	0	0
		【16】 小計	66,338	68,987	72,117	72,052
	[再掲]臨時・非常勤職員人件費(千円)	0	0	0	0	
	職人 員 件 の 費	職員人工数	0.55	1.10	1.10	1.10
		職員の年間平均給与額(千円)	5,925	5,896	5,896	5,896
		【17】 小計	3,259	6,486	6,486	6,486
	合 計		69,597	75,473	78,603	78,538

《事務事業の手段と活動指標》 [18]

事務事業を構成する細事業	手段(細事業の具体的内容)	活動指標	単位	H28実績	H29実績	H30実績	H31計画
① 市営住宅維持管理業務委託事業	市営住宅維持管理業務の外部委託を行う。	委託を行った件数	件	1	1	1	1
② 施設賠償業務	施設損害賠償保健を掛ける。	保険を掛けた団地数	団地	31	31	31	31
③ 放置車両廃棄処分業務	所有者の特定及び撤去指導または撤去を行う。	撤去指導または撤去件数	件	0	0	0	0

《コスト評価による年度比較》 [19]

コスト評価	H28年度決算		H29年度決算		H30年度決算		H31年度予算					
	対象(日常修繕件数)	577	611	560	500	投入コスト合計(千円)	69,597	75,473	78,603	78,538		
対象1単位あたりのコスト(千円)	121	124	140	157	コスト評価(対前年比)	***	97.65%	(↓)	88.00%	(↓)	89.36%	(↓)

《事務事業の成果》 [20]

成果指標(意図の数値化)	計算方法又は説明	単位	H28目標	H29目標	H30目標	H31目標
			H28実績	H29実績	H30実績	H31実績
1 修繕対応率	修繕対応件数/修繕依頼件数×100	%	100	100	100	100
2			100	100	100	

* 成果未達成時の理由

《事務事業の評価》

		評価の視点	評価結果
妥当性 [21]	<input type="checkbox"/> ・市が実施するよう法令等で義務づけられている <input type="checkbox"/> ・法令等で義務づけられていないが、実施しなければ大半の市民の日常生活に支障をきたす <input type="checkbox"/> ・市が事業へ関与する必要が薄れている <input checked="" type="checkbox"/> ・対象者は限定的であるが社会的弱者等を対象としている <input type="checkbox"/> ・利用者、対象者の減少など、市民ニーズの低下傾向がみられる <input checked="" type="checkbox"/> ・現在の市を取り巻く環境からも目的・意図する成果は妥当である <input type="checkbox"/> ・事業開始当初の目的から変化してきている <input type="checkbox"/> ・厳しい財政状況の中、実施する緊急性が認められない		妥当性評価 a 高い b やや高い c やや低い d 低い b
		<input type="checkbox"/> ・コスト評価の対前年度比は、前年度と比較して改善している <input checked="" type="checkbox"/> ・直近2年で、コスト削減の努力・または検討はしているが、下がる余地は小さい <input type="checkbox"/> ・民間など、他の実施主体を活用し、成果を維持したまま事業費等の削減が可能である <input type="checkbox"/> ・電子化等の事務改善、契約や人員の見直し、市の負担(補助)割合を下げること等により、コスト削減の余地がある <input checked="" type="checkbox"/> ・サービスを維持するためこれ以外、他に手段が見当たらない <input type="checkbox"/> ・現在の手段は過剰なサービスのため、改善の余地がある	効率性評価 a 高い b やや高い c やや低い d 低い a
有効性 [23]	<input checked="" type="checkbox"/> ・成果指標を設定している <input checked="" type="checkbox"/> ・成果指標の目標値を達成した <input type="checkbox"/> ・現在の事業を継続しても成果の向上は期待できない <input type="checkbox"/> ・手段を工夫することで、さらに成果を向上させることができる <input type="checkbox"/> ・法定事務であり成果は求めにくい <input type="checkbox"/> ・事業について積極的にHPや広報等で情報提供している <input type="checkbox"/> ・事業には地域住民、NPO、ボランティア団体等が参画している <input type="checkbox"/> ・国/県/民間が行っている事業と重複、または、他の部等に類似・重複した事務事業があるため、事業内容を見直す余地がある		有効性評価 a 高い b やや高い c やや低い d 低い b
		<input checked="" type="checkbox"/> ・受益者負担がある ⇒ <input checked="" type="checkbox"/> ・金額が妥当 <input type="checkbox"/> ・金額が高すぎる、または安すぎる ・負担率【 91.75 %】 <input type="checkbox"/> ・受益者負担が無い ⇒ <input type="checkbox"/> ・設定できる <input type="checkbox"/> ・設定できない理由() [24]	

《前回からのふりかえり結果と今後の方向性》

前回のふりかえりに対して見直し・改善状況 [25]	前回に引き続き安定した施設管理運営が行われている。		
今後の方向性 [26]	<input type="checkbox"/> 拡充して継続 <input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 縮小して継続 <input type="checkbox"/> 執行方法の改善 <input type="checkbox"/> 休止・廃止	総合判定	A
今後の方向性に対する見直し・改善の具体的内容	平成31年度から維持管理業務を委託する事業所が変わり、今後も入居者が安心して生活を送るため適正な管理運営を行うため、新たな事業所と情報共有・意見交換を行っていく。		
次年度への予算反映(連動)	<input type="checkbox"/> ・増額 (細事業名) <input type="checkbox"/> ・減額 (細事業名)		

■評価責任者記入欄

評価責任者(課長)の所見 [27]	平成30年度までで5年間の委託業者との契約が切れた。これまで適正な管理運営ができ、特に入居者からの要望やクレーム等に適切に対応することが出来た。今後は、この業務を現状のまま継続し、新たな委託業者とともに維持管理を行っていく。	評価責任者 福島 修生
-------------------	--	----------------

事務ふりかえりシート

《基本情報》

事務事業の名称 【1】	ユニバーサルデザイン建築物整備事業		所管課 【2】	営繕課
			作成者(担当者)	山下 宗一郎
総合計画での位置付け 【3】	基本目標(章)	④便利で快適な都市づくり		
	主要施策(節)	(3)住環境の整備・充実		
	施策区分			重点施策 【4】 <input type="checkbox"/> 該当
実施の根拠 (複数回答可) 【5】	<input type="checkbox"/> 市長公約 <input type="checkbox"/> 新市建設計画【 年度予定 : 金額 0 千円】 <input checked="" type="checkbox"/> 法令、県・市条例等【 玉名市ユニバーサルデザイン建築物整備促進事業補助金交付要綱 】 <input type="checkbox"/> その他の計画【 】 <input type="checkbox"/> 該当なし			
事業区分 【6】	<input checked="" type="checkbox"/> ソフト事業 <input type="checkbox"/> 義務的事業 <input type="checkbox"/> 建設・整備事業 <input type="checkbox"/> 施設の維持管理事業 <input type="checkbox"/> 内部管理事務 <input type="checkbox"/> 計画等の策定事務			
会計区分 【7】	<input checked="" type="checkbox"/> 一般会計 <input type="checkbox"/> 特別・企業会計【		款	8 項 6 目 2 細目 2

《事務事業の目的》

事務事業の実施背景(どのような問題又はニーズがあるのか) 【8】	高齢者や障害者をはじめだれもが自立した日常生活、社会参加ができるユニバーサルデザインのまちづくりを進める必要がある。
対象 (誰、何に対して、受益者等) 【9】	バリアフリー法第2条及び熊本県やさしい条例第28条に規定する民間の特別特定建築物のうち、バリアフリー法施行令第5条第2号(病院に限る。)、第9号及び第10号を除く建築物の改修をおこなう者。
意図 (どのような状態にしたいか) 【10】	不特定多数の者が利用する建物においてユニバーサルデザインの考え方に立った整備が進むことで、だれもが安全で快適に施設を利用することができる。

《事務事業の概要》

事業期間 【11】	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返し <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 【 年度】 【 17 年度から】 【 年度～ 年度まで】		
事業主体 【12】	<input type="checkbox"/> 国 <input type="checkbox"/> 県 <input checked="" type="checkbox"/> 市 <input type="checkbox"/> 民間 <input type="checkbox"/> その他【 】		
実施方法 【13】	<input type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 全部委託・請負 <input type="checkbox"/> 一部委託・請負 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金等交付 <input type="checkbox"/> その他【 】		
事務事業の具体的内容 【14】	<p>高齢者、障がい者等が円滑に利用できるユニバーサルデザインに配慮した建築物の整備を促進するため、高齢者、障がい者等に配慮した建築物の整備を行う民間事業者等に対し補助金を交付する。</p>	➡	【15】 事務事業を構成する細事業(2)本 ① ユニバーサルデザイン建築物整備事業 ② ユニバーサルデザイン改修相談受付 ③

《事務事業実施に係るコスト》

		H28年度決算	H29年度決算	H30年度決算	H31年度予算	全体計画	
投入コスト	事業費(千円)	国庫支出金	0	0	0	0	
		県支出金	0	0	0	1,000	
		起債	0	0	0	0	
		受益者負担	0	0	0	0	
		その他	0	0	0	0	
		一般財源	0	0	0	1,000	
	【16】 小計	0	0	0	2,000	0	
	[再掲]臨時・非常勤職員人件費(千円)	0	0	0	0		
	職人件費	職員人工数	0.00	0.00	0.15	0.15	
		職員の年間平均給与額(千円)	5,925	5,896	5,896	5,896	
【17】 小計	0	0	884	884			
合計		0	0	884	2,884		

《事務事業の手段と活動指標》 【18】

事務事業を構成する細事業	手段(細事業の具体的内容)	活動指標	単位	H28実績	H29実績	H30実績	H31計画
① ユニバーサルデザイン建築物整備事業	誰もが利用しやすいような改修に要する費用の一部を、県の補助事業を活用し実施する。	補助金助成件数	件	0	0	0	1
② ユニバーサルデザイン改修相談受付	市民からユニバーサルデザイン改修についての相談対応を行う。	ユニバーサルデザイン改修相談件数	件	0	4	2	1
③							

《コスト評価による年度比較》 【19】

コスト評価	H28年度決算		H29年度決算		H30年度決算		H31年度予算	
	対象(ユニバーサルデザイン建築物整備事業)	0	0	0	0	0	0	1
投入コスト合計(千円)	0	0	0	884	0	0	2,884	
対象1単位あたりのコスト(千円)	0	0	0	0	0	0	2,884	
コスト評価(対前年比)	***	0.00%	(-)	0.00%	(-)	0.00%	(-)	

《事務事業の成果》 【20】

成果指標(意図の数値化)	計算方法又は説明	単位	H28目標	H29目標	H30目標	H31目標
			H28実績	H29実績	H30実績	H31実績
1 広報紙等でのユニバーサルデザイン改修の啓発・情報発信	誰もが利用しやすいような改修を促進するため、広報たまたな等で周知を行う。	件	—	—	—	2
2			—	2	2	—

* 成果未達成時の理由

《事務事業の評価》

		評価の視点	評価結果	
妥当性 【21】	<input type="checkbox"/> ・市が実施するよう法令等で義務づけられている	<input type="checkbox"/> ・法令等で義務づけられていないが、実施しなければ大半の市民の日常生活に支障をきたす <input type="checkbox"/> ・市が事業へ関与する必要が薄れている <input checked="" type="checkbox"/> ・対象者は限定的であるが社会的弱者等を対象としている <input type="checkbox"/> ・利用者、対象者の減少など、市民ニーズの低下傾向がみられる <input type="checkbox"/> ・現在の市を取り巻く環境からも目的・意図する成果は妥当である <input type="checkbox"/> ・事業開始当初の目的から変化してきている <input type="checkbox"/> ・厳しい財政状況の中、実施する緊急性が認められない	妥当性評価	
	<input type="checkbox"/> ・直近2年で、コスト削減の努力・または検討はしているが、下がる余地は小さい		a 高い b やや高い c やや低い d 低い	
効率性 【22】	<input type="checkbox"/> ・民間など、他の実施主体を活用し、成果を維持したまま事業費等の削減が可能である		b	
	<input checked="" type="checkbox"/> ・サービスを維持するためこれ以外、他に手段が見当たらない			
有効性 【23】	<input checked="" type="checkbox"/> ・成果指標を設定している		有効性評価	
	<input type="checkbox"/> ・現在の事業を継続しても成果の向上は期待できない		a 高い b やや高い c やや低い d 低い	
公平性	<input type="checkbox"/> ・受益者負担がある ⇒ <input type="checkbox"/> ・金額が妥当 <input type="checkbox"/> ・金額が高すぎる、または安すぎる ・負担率【 0.00 %】		<input checked="" type="checkbox"/> ・受益者負担が無い ⇒ <input type="checkbox"/> ・設定できる <input type="checkbox"/> ・設定できない理由() 【24】	

《前回からのふりかえり結果と今後の方向性》

前回のふりかえりに対して見直し・改善状況 【25】	昨年度事務ふりかえり対象外		
今後の方向性 【26】	<input type="checkbox"/> 拡充して継続 <input type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input checked="" type="checkbox"/> 縮小して継続 <input type="checkbox"/> 執行方法の改善 <input type="checkbox"/> 休止・廃止	総合判定	C
今後の方向性に対する見直し・改善の具体的内容	広報等で周知を行っているが、実績は0件となってしまった。補助を活用するためには、道路の幅やオストメイト設置等のさまざまな条件が発生するため、難色を示される方が多い。要綱を改正したいが、県費を活用しているため県が要綱を改正しないことにはできない状況である。今後は、申請が1件もあがってきてないことから、当初で計上するのではなく、申請があがってきた場合のみ補正にて対応を行っていく。		
次年度への予算反映(連動)	<input type="checkbox"/> ・増額 (細事業名) <input checked="" type="checkbox"/> ・減額 (細事業名) ユニバーサルデザイン建築物整備事業		

■ 評価責任者記入欄

評価責任者(課長)の所見 【27】	この事業は直近3年間をみても実績はない。県事業であり、毎年、周知を図っているが、活用の相談はあるものの、活用には至っていない。そのため、他市の状況を踏まえ、令和元年度からは補正予算で対応する。	評価責任者 福島 修生
-------------------	--	----------------

事務ふりかえりシート

《基本情報》

事務事業の名称 【1】	公営住宅ストック総合改善事業			所管課 【2】	営繕課
				作成者(担当者)	徳永 信貴
総合計画での位置付け 【3】	基本目標(章)	④便利で快適な都市づくり			重点 施策 【4】
	主要施策(節)	(3)住環境の整備・充実			
	施策区分	(3)公営住宅の整備			<input type="checkbox"/> 該当
実施の根拠 (複数回答可) 【5】	<input type="checkbox"/> 市長公約 <input checked="" type="checkbox"/> 新市建設計画【 H17~H32 年度予定 : 金額 836,052 千円】 <input checked="" type="checkbox"/> 法令、県・市条例等【 公営住宅法、玉名市営住宅条例 】 <input checked="" type="checkbox"/> その他の計画【 玉名市公営住宅等長寿命化計画、玉名市公共施設長期整備計画 】 <input type="checkbox"/> 該当なし				
事業区分 【6】	<input type="checkbox"/> ソフト事業 <input type="checkbox"/> 義務的事業 <input type="checkbox"/> 建設・整備事業 <input checked="" type="checkbox"/> 施設の維持管理事業 <input type="checkbox"/> 内部管理事務 <input type="checkbox"/> 計画等の策定事務				
会計区分 【7】	<input checked="" type="checkbox"/> 一般会計 <input type="checkbox"/> 特別・企業会計【			】	款 8 項 6 目 2 細目 3

《事務事業の目的》

事務事業の実施背景(どのような問題又はニーズがあるのか) 【8】	更新期を迎えつつある老朽化した公営住宅ストックの効率的かつ円滑な更新を行い、公営住宅の需要に的確に対応することで、予防保全的管理、長寿命化に資する改善を推進する必要がある。
対象 (誰、何に対して、受益者等) 【9】	公営住宅入居者
意図 (どのような状態にしたいか) 【10】	公営住宅の需要に的確に対応するとともに、入居者の安全性と住環境の向上を図る。

《事務事業の概要》

事業期間 【11】	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返し <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 【 年度】 【 H17 年度から】 【 年度～ 年度まで】						
事業主体 【12】	<input type="checkbox"/> 国 <input type="checkbox"/> 県 <input checked="" type="checkbox"/> 市 <input type="checkbox"/> 民間 <input type="checkbox"/> その他【 】						
実施方法 【13】	<input type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 全部委託・請負 <input checked="" type="checkbox"/> 一部委託・請負 <input type="checkbox"/> 補助金等交付 <input type="checkbox"/> その他【 】						
事務事業の具体的内容 【14】	<div style="display: flex; align-items: flex-start;"> <div style="flex: 1;"> <p>1 公営住宅等外壁改修事業 躯体補修により外壁の落下を防止し、建物の長寿命化を図るとともに、屋上防水の機能向上を図る。</p> <p>2 公営住宅等給排水改修事業 老朽化した給排水管・ガス管の更新を行い、居住性の向上を図る。</p> <p>3 公営住宅等電気設備改修事業 各戸の電気容量を増加し、居住性の向上を図る。</p> <p>4 糠峯団地防鳥ネット取付事業 糠峯団地の1階及び2階のベランダ部分に防鳥ネットを設置し、居住性の向上を図る。</p> <p>5 市営住宅火災報知器取替事業 更新期を向かえる火災報知機の取替えによって、引き続き機器の機能と性能を維持し、生命と財産を火災から守る。</p> </div> <div style="flex: 0.5; text-align: center; font-size: 2em; margin: 0 10px;">⇒</div> <div style="flex: 1;"> <p>【15】 事務事業を構成する細事業(10)本</p> <table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td>①</td> <td>公営住宅等外壁改修事業</td> </tr> <tr> <td>②</td> <td>公営住宅等給排水改修事業</td> </tr> <tr> <td>③</td> <td>公営住宅等電気設備改修事業</td> </tr> </table> </div> </div>	①	公営住宅等外壁改修事業	②	公営住宅等給排水改修事業	③	公営住宅等電気設備改修事業
①	公営住宅等外壁改修事業						
②	公営住宅等給排水改修事業						
③	公営住宅等電気設備改修事業						

《事務事業実施に係るコスト》

		H28年度決算	H29年度決算	H30年度決算	H31年度予算	全体計画	
投入コスト	事業費 (千円)	国庫支出金	34,579	69,813	43,885	20,367	0
		県支出金	0	0	0	0	0
		起債	0	0	59,502	27,200	0
		受益者負担	0	0	0	0	0
		その他	0	0	0	0	0
		一般財源	44,622	54,556	40,458	39,153	0
		【16】 小計	79,201	124,369	143,845	86,720	0
	[再掲]臨時・非常勤職員人件費(千円)		0	0	0	0	
	職人 員件 の費	職員人工数	1.70	1.50	2.05	2.05	
		職員の年間平均給与額(千円)	5,925	5,896	5,896	5,896	
【17】 小計		10,073	8,844	12,087	12,087		
合計		89,274	133,213	155,932	98,807		

《事務事業の手段と活動指標》 [18]

事務事業を構成する細事業	手段(細事業の具体的内容)	活動指標	単位	H28実績	H29実績	H30実績	H31計画
① 公営住宅等外壁改修事業	躯体補修により外壁の落下を防止し、建物の長寿命化を図るとともに、屋上防水の機能向上を図る。	改修戸数	戸	10	10	20	14
② 公営住宅等給排水改修事業	老朽化した給排水管・ガス管の更新を行い、居住性の向上を図る。	改修戸数	戸	72	94	88	16
③ 公営住宅等電気設備改修事業	家電製品の普及に伴い、電力消費量が増加したため各戸の電気容量を増加し、居住性の向上を図る。	改修戸数	戸	64	80	80	16

《コスト評価による年度比較》 [19]

コスト評価	H28年度決算		H29年度決算		H30年度決算		H31年度予算	
	対象(住宅戸数)	1208	1208	1208	1208	1208	1208	1208
投入コスト合計(千円)	89,274	133,213	155,932	98,807				
対象1単位あたりのコスト(千円)	74	110	129	82				
コスト評価(対前年比)	***	67.02%	(↓)	85.43%	(↓)	157.81%	(↑)	

《事務事業の成果》 [20]

成果指標(意図の数値化)	計算方法又は説明	単位	H28目標	H29目標	H30目標	H31目標
			H28実績	H29実績	H30実績	H31実績
1 事業実施団地数	玉名市公営住宅等長寿命化計画の事業計画案に対する実績	棟	11	10	17	16
2			7	16	17	

* 成果未達成時の理由

《事務事業の評価》

		評価の視点	評価結果
妥当性 [21]	<input type="checkbox"/> ・市が実施するよう法令等で義務づけられている <input type="checkbox"/> ・法令等で義務づけられていないが、実施しなければ大半の市民の日常生活に支障をきたす <input type="checkbox"/> ・市が事業へ関与する必要が薄れている <input checked="" type="checkbox"/> ・対象者は限定的であるが社会的弱者等を対象としている <input type="checkbox"/> ・利用者、対象者の減少など、市民ニーズの低下傾向がみられる <input type="checkbox"/> ・現在の市を取り巻く環境からも目的・意図する成果は妥当である <input type="checkbox"/> ・事業開始当初の目的から変化してきている <input type="checkbox"/> ・厳しい財政状況の中、実施する緊急性が認められない		妥当性評価 a 高い b やや高い c やや低い d 低い b
	<input type="checkbox"/> ・コスト評価の対前年度比は、前年度と比較して改善している <input checked="" type="checkbox"/> ・直近2年で、コスト削減の努力・または検討はしているが、下がる余地は小さい <input type="checkbox"/> ・民間など、他の実施主体を活用し、成果を維持したまま事業費等の削減が可能である <input type="checkbox"/> ・電子化等の事務改善、契約や人員の見直し、市の負担(補助)割合を下げること等により、コスト削減の余地がある <input type="checkbox"/> ・サービスを維持するためこれ以外、他に手段が見当たらない <input type="checkbox"/> ・現在の手段は過剰なサービスのため、改善の余地がある		効率性評価 a 高い b やや高い c やや低い d 低い b
有効性 [23]	<input checked="" type="checkbox"/> ・成果指標を設定している <input checked="" type="checkbox"/> ・成果指標の目標値を達成した <input type="checkbox"/> ・現在の事業を継続しても成果の向上は期待できない <input type="checkbox"/> ・手段を工夫することで、さらに成果を向上させることができる <input type="checkbox"/> ・法定事務であり成果は求めにくい <input type="checkbox"/> ・事業について積極的にHPや広報等で情報提供している <input type="checkbox"/> ・事業には地域住民、NPO、ボランティア団体等が参画している <input type="checkbox"/> ・国/県/民間が行っている事業と重複、または、他の部等に類似・重複した事務事業があるため、事業内容を見直す余地がある		有効性評価 a 高い b やや高い c やや低い d 低い b
	<input type="checkbox"/> ・受益者負担がある ⇒ <input type="checkbox"/> ・金額が妥当 <input type="checkbox"/> ・金額が高すぎる、または安すぎる ・負担率【 0.00 %】 <input checked="" type="checkbox"/> ・受益者負担が無い ⇒ <input type="checkbox"/> ・設定できる <input checked="" type="checkbox"/> ・設定できない理由(家賃収入が別にある) [24]		

《前回からのふりかえり結果と今後の方向性》

前回のふりかえりに対して見直し・改善状況 [25]	継続して適切な管理に努めた。		
今後の方向性 [26]	<input type="checkbox"/> 拡充して継続 <input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 縮小して継続 <input type="checkbox"/> 執行方法の改善 <input type="checkbox"/> 休止・廃止	総合判定	A
今後の方向性に対する見直し・改善の具体的内容	入居者の安全性と住環境向上を目的として、計画に基づき更新期を迎えつつある老朽化した公営住宅ストックの効率的かつ円滑な更新を行い、公営住宅の需要に的確に対応するため現状のまま継続する。		
次年度への予算反映(連動)	<input type="checkbox"/> ・増額 (細事業名) <input type="checkbox"/> ・減額 (細事業名)		

■評価責任者記入欄■

評価責任者(課長)の所見 [27]	保全や長寿命化を図るために、老朽化した公営住宅ストックの効率的かつ効果的な更新を現状のまま継続し行うことで、入居者の安全性の確保及び住環境の向上に努める。	評価責任者 福島 修生
-------------------	---	-----------------------